

397) <sup>ひと</sup>他人の妻

風と遊んで花は散り      恋はいずこに流れてく  
あなたの香り恋しくて      あなたの夢を追いかけた  
忘れられない女だから      <sup>ひと</sup>宿命の酒を酌み交わす  
こんなに好きになれたのに      なぜにあなたは<sup>ひと</sup>他人の妻

初めて花が咲くように      ためらいながら恋をした  
すべてのものを置き去りに      愛することもできたけど  
あなたの心もどかしく      <sup>とき</sup>時間の流れを見送った  
こんなに好きになれたのに      なぜにあなたは他人の妻

あなたを胸に抱きしめて      駆け落ちしたいこともある  
背負った過去が重たくて      過去から逃げて生きるより  
僕が涙をこらえれば      失うものは何もない  
こんなに好きになれたのに      なぜにあなたは他人の妻

忘れられない女でした      こころ綺麗な女でした  
美しい日は短くて      花は寂しく散りました  
思い出ばかりありありと      心の中で咲いている  
こんなに好きになれたのに      なぜにあなたは他人の妻

忘れられない女でした      瞳の綺麗な女でした  
こんなに好きになれたのに      なぜにあなたは他人の妻

→